

特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

（法第 12 条、法施行規則第 56 条）
〔PCT36 条及び PCT 規則 70〕



| | | |
|--|--------------------------------------|-------------------------------|
| 出願人又は代理人 の書類記号 P205-0130W0 | 今後の手続きについては、様式 PCT/IPEA/416 を参照すること。 | |
| 国際出願番号 PCT/JP2005/004646 | 国際出願日 (日. 月. 年) 16. 03. 2005 | 優先日 (日. 月. 年) 16. 03. 2004 |
| 国際特許分類 (IPC) Int.Cl. H04N1/028(2006. 01), H04N1/04(2006. 01) | | |
| 出願人 (氏名又は名称) キャノン・コンポーネンツ株式会社 | | |

| | |
|--|--|
| <p>1. この報告書は、PCT35 条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第 57 条 (PCT36 条) の規定に従い送付する。</p> <p>2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で <u>4</u> ページからなる。</p> <p>3. この報告には次の附属物件も添付されている。</p> <p>a. <input checked="" type="checkbox"/> 附属書類は全部で <u>4</u> ページである。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙 (PCT 規則 70. 16 及び実施細則第 607 号参照)</p> <p><input type="checkbox"/> 第 I 欄 4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙</p> <p>b. <input type="checkbox"/> 電子媒体は全部で _____ (電子媒体の種類、数を示す)。 配列表に関する補充欄に示すように、電子形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。 (実施細則第 802 号参照)</p> | |
| <p>4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第 I 欄 国際予備審査報告の基礎</p> <p><input type="checkbox"/> 第 II 欄 優先権</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第 III 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成</p> <p><input type="checkbox"/> 第 IV 欄 発明の単一性の欠如</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第 V 欄 PCT35 条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明</p> <p><input type="checkbox"/> 第 VI 欄 ある種の引用文献</p> <p><input type="checkbox"/> 第 VII 欄 国際出願の不備</p> <p><input type="checkbox"/> 第 VIII 欄 国際出願に対する意見</p> | |

| | | |
|---|--------------------------------|---------|
| 国際予備審査の請求書を受理した日 12. 01. 2006 | 国際予備審査報告を作成した日 27. 06. 2006 | |
| 名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号 | 特許庁審査官 (権限のある職員) 渡辺 努 | 5V 8948 |
| 電話番号 03-3581-1101 内線 3571 | | |

様式 PCT/IPEA/409 (表紙) (2005 年 4 月)

第 I 欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

- ☒ 出願時の言語による国際出願
- ☐ 出願時の言語から次の目的のための言語である _____ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
- ☐ 国際調査 (PCT 規則 12.3(a) 及び 23.1(b))
- ☐ 国際公開 (PCT 規則 12.4(a))
- ☐ 国際予備審査 (PCT 規則 55.2(a) 又は 55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第 6 条 (PCT 14 条) の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 1-22 _____ ページ、出願時に提出されたもの

第 _____ ページ*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ ページ*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 _____ 項、出願時に提出されたもの

第 _____ 項*、PCT 19 条の規定に基づき補正されたもの

第 17-19, 21, 26 _____ 項*、12.01.2006 付で国際予備審査機関が受理したもの

第 16, 20, 22-25, 27 _____ 項*、22.05.2006 付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 1-16 _____ ページ/図、出願時に提出されたもの

第 _____ ページ/図*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ ページ/図*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☒ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 _____ ページ

☒ 請求の範囲 第 1-15 _____ 項

☐ 図面 第 _____ ページ/図

☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____

☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT 規則 70.2(c))

☐ 明細書 第 _____ ページ

☐ 請求の範囲 第 _____ 項

☐ 図面 第 _____ ページ/図

☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____

☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成

次に關して、当該請求の範囲に記載されている発明の新規性、進歩性又は産業上の利用可能性につき、次の理由により審査しない。

☐ 国際出願全体

☒ 請求の範囲 22, 25, 27

理由：

☐ この国際出願又は請求の範囲 _____ は、国際予備審査をすることを要しない次の事項を内容としている（具体的に記載すること）。

☒ 明細書、請求の範囲若しくは図面（次に示す部分）又は請求の範囲 22, 25 の記載が、不明確であるため、見解を示すことができない（具体的に記載すること）。

請求の範囲 22, 25 にて、「1 主走査ライン当りの読取り時間の 1 / 3 で表される時間」とあるが、請求の範囲 22, 25 にて引用される請求の範囲 20, 23 においては、「少なくとも 3 色の異なる発光素子・・・少なくとも 3 列の画素列」とあり、3 色、3 列以外の構成の際に、「1 主走査ライン当りの読取り時間の 1 / 3 で表される時間」とした場合の構成が不明確である。

☐ 全部の請求の範囲又は請求の範囲 _____ が、明細書による十分な裏付けを欠くため、見解を示すことができない（具体的に記載すること）。

☒ 請求の範囲 27 について、国際調査報告が作成されていない。

☐ 入手可能な配列表が存在せず、有意義な見解を示すことができなかった。

出願人は所定の期間内に、

☐ 実施細則の附属書 C に定める基準を満たす紙形式の配列表を提出しなかったため、国際予備審査機関は、認められた形式及び方法で配列表を入手することができなかった。

☐ 実施細則の附属書 C に定める基準を満たす電子形式の配列表を提出しなかったため、国際予備審査機関は、認められた形式及び方法で配列表を入手することができなかった。

☐ PCT 規則 13 の 3.1(a) 又は (b) 及び 13 の 3.2 に基づく命令に応じた、要求された配列表の遅延提出手数料を支払わなかった。

☐ 入手可能な配列表に関連するテーブルが存在しないため、有意義な見解を示すことができなかった。すなわち、出願人が、所定の期間内に、実施細則の附属書 C の 2 に定める技術的な要件を満たす電子形式のテーブルを提出しなかったため、国際予備審査機関は、認められた形式及び方法でテーブルを入手することができなかった。

☐ ヌクレオチド又はアミノ酸の配列表に関連するテーブルが電子形式のみで提出された場合において、当該テーブルが、実施細則の附属書 C の 2 に定める技術的な要件を満たしていない。

☐ 詳細については補充欄を参照すること。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

| | | |
|----------------|-------------------------|---|
| 新規性 (N) | 請求の範囲 16-21, 23, 24, 26 | 有 |
| | 請求の範囲 | 無 |
| 進歩性 (IS) | 請求の範囲 16-21, 23, 24, 26 | 有 |
| | 請求の範囲 | 無 |
| 産業上の利用可能性 (IA) | 請求の範囲 16-21, 23, 24, 26 | 有 |
| | 請求の範囲 | 無 |

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

- ✓ 文献1 : JP 2000-316067 A (セイコーエプソン株式会社) 2000.11.14, 段落番号 0009-0022、第1-4図
- ✓ 文献2 : JP 2003-046718 A (株式会社リコー) 2003.02.14, 段落番号 0014-0015、第4図
- ✓ 文献3 : JP 4-266261 A (キヤノン株式会社) 1992.09.22, 段落番号 0008-0053、第1-8図

請求の範囲 16-21, 23, 24, 26 に係る発明は、国際調査報告で引用された文献に対して進歩性を有する。文献1-3には各画素列の配置位置と原稿の搬送速度とに応じて、各発光素子の点灯開始時間と点灯時間を制御することが記載されていない。

請求の範囲

1. (削除)
2. (削除)
3. (削除)
4. (削除)
5. (削除)
6. (削除)
7. (削除)
8. (削除)
9. (削除)
10. (削除)
11. (削除)
12. (削除)
13. (削除)
14. (削除)
15. (削除)
16. (補正)

原稿を照明する少なくとも3色の異なる発光素子からなる光源と、前記原稿の搬送方向に略直交する方向に配置された異なる色のカラーフィルタを有する少なくとも3列の画素列を含むセンサアレイと、前記発光素子のそれぞれを独立して点灯及び消灯する光源駆動回路とを具備するカラーイメージセンサユニットであって、

前記光源駆動回路は、前記3列の画素列のそれぞれの画素の配置位置と前記原稿の搬送速度とに応じて、前記各発光素子の点灯開始時間と点灯期間を制御することを特徴とするカラーイメージセンサユニット。

17.

前記光源駆動回路は、前記原稿を読み取る1主走査ライン当たりの読取り時間内で、各発光素子の点灯を開始する順番を、前記カラーフィルタの前記原稿の搬送方向における前記画素列に対応する色の順番とすることを特徴とする請

求項 16 に記載のカラーイメージセンサユニット。

18.

前記 3 色の異なる発光素子のうち少なくとも 1 色の発光素子の発光波長の分光スペクトルの半値幅が、同じ色の前記カラーフィルタの分光スペクトルの半値幅よりも狭いことを特徴とする請求項 16 又は 17 に記載のカラーイメージセンサユニット。

19.

前記発光素子は LED であることを特徴とする請求項 16 又は 17 に記載のカラーイメージセンサユニット。

20. (補正)

原稿を走査する原稿走査部と、前記原稿を照明する少なくとも 3 色の異なる発光素子からなる光源部と、前記原稿の搬送方向に略直交する方向に配置された異なる色のカラーフィルタを持つ少なくとも 3 列の画素列からなるセンサアレイ部と、前記発光素子を独立して点灯及び消灯する光源駆動回路部とを具備するカラーイメージセンサユニットと、

前記カラーイメージセンサユニットからの画像信号をもとに出力画像を作成する画像形成部とを有する原稿読取装置であって、

前記光源駆動回路部は、前記原稿の搬送方向における各画素列の配置位置と前記原稿走査部による原稿の搬送速度とに応じて、前記各発光素子の点灯開始時間及び点灯期間を制御することを特徴とする原稿読取装置。

21.

前記光源駆動回路部は、前記センサアレイによる 1 主走査ライン当たりの読取り時間内で、各発光素子の点灯を開始する順番を、前記カラーフィルタの前記原稿の搬送方向の画素列の色に対応する順番とすることを特徴とする請求項 20 に記載の原稿読取装置。

22. (補正)

前記光源駆動回路部は、前記センサアレイの 1 主走査ライン当たりの読取り時間内で、各発光素子が点灯を開始する時間差を、1 主走査ライン当たりの読取り時間の $1/3$ で表される時間とすることを特徴とする請求項 20 に記載の原稿読取装置。

23. (補正)

原稿を走査する原稿走査部と、前記原稿を照明する少なくとも3色の異なる発光素子からなる光源部と、前記原稿の搬送方向に略直交する方向に配置された異なる色のカラーフィルタを持つ少なくとも3列の画素列からなるセンサアレイ部と、前記発光素子を独立して点灯及び消灯する光源駆動回路部とを具備するカラーイメージセンサユニットと、前記カラーイメージセンサユニットからの画像信号をもとに出力画像を作成する画像形成部とを有する原稿読取装置の駆動方法であって、

前記原稿の搬送方向における各画素列の配置位置と前記原稿の搬送速度とに応じて、前記各発光素子の点灯開始時間と点灯期間を制御することを特徴とする原稿読取装置の駆動方法。

24. (補正)

前記センサアレイによる1主走査ライン当たりの読取り時間内において、前記発光素子の点灯開始する順番を、前記原稿の搬送方向の画素列のカラーフィルタの色の順番としたことを特徴とする請求項23に記載の原稿読取装置の駆動方法。

25. (補正)

前記センサアレイによる1主走査ライン当たりの読取り時間内において、各発光素子が点灯開始するまでの時間差を、1主走査ライン当たりの読取り時間の $1/3$ で表される時間とすることを特徴とする請求項23に記載の原稿読取装置の駆動方法。

26.

前記原稿読取装置の解像度及び／又は前記原稿の走査速度に応じて、前記光源駆動回路による各発光素子の点灯期間を変えることによって、前記カラーイメージセンサユニットの出力バランスを調整する工程を更に有することを特徴とする請求項23に記載の原稿読取装置の駆動方法。

27. (補正)

原稿を走査する原稿走査部と、前記原稿を照明する少なくとも3色の異なる発光素子からなる光源部と、前記原稿の搬送方向に略直交する方向に配置された異なる色のカラーフィルタを持つ少なくとも3列の画素列からなるセンサア

レイ部と、前記発光素子を独立して点灯及び消灯する光源駆動回路部とを具備するカラーイメージセンサユニットと、前記カラーイメージセンサユニットからの画像信号をもとに出力画像を作成する画像形成部とを有する原稿読取装置の駆動方法であって、

前記各発光素子の点灯期間に関して、前記原稿読取部による1主走査ライン当たりの読取り時間をTWとした時に、TWを複数のブロック期間に分割し、各ブロック期間内で点灯デューティを可変することにより発光光量を可変することを特徴とする原稿読取装置の駆動方法。